

令和7年度第1学期終業式式辞（西条高校）

皆さん、おはようございます。

1学期の最終日を迎えました。この4か月間、生徒の皆さんは、学習に軸足を置きながら、部活動、学校行事、そしてSSH指定校としての探究活動という四つの柱にバランスよく取り組み、本当によく頑張ったと思います。特に部活動では、どの部も素晴らしい活躍を見せてくれました。学業との両立は容易ではありませんが、真剣に打ち込むことは、かけがえのない成長の機会となります。全国大会に出場する皆さんは、日頃の成果を存分に発揮してください。自然科学部の化学班は、現在開催中の大阪・関西万博で、7月21日に研究成果をプレゼンする予定です。また、5年ぶり6回目の全国大会に出場する書道部も、全国大会で上位5位以内に入れば、同じく万博で書道パフォーマンスを披露できると聞いています。西条高校の魅力を世界へ発信できる日が来ると思うと、とても誇らしく、楽しみです。

そこで今日は、「大阪・関西万博」のことを少しお話したいと思います。

私が5歳だった1970年の大阪万博では、「人類の進歩と調和」がテーマで、アメリカの月の石が展示されたり、会場で使用する電力を原子力発電でまかなったりしていました。いわゆる世界最先端の技術を自分の目で実際に見ることができた画期的なイベントでした。それから55年。今回の万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。確かに人類は進歩し、科学は発達したかも知れませんが、そのことによって地球ではいろいろな問題が発生しています。その中で、AI（人工知能）やロボットの力を借りながら、未来に向かって諸問題を解決していこうというのが今回の万博のテーマだといえるでしょう。具体的には、「iPS細胞を使った心臓治療」や「空飛ぶ車を使った交通問題の解決」、「マツコロイドによるAIと人間の関係性の探究」など、未来の生活に役立つアイデアが紹介されています。若い人たちが万博を見て「自分はどんな未来を作りたいか、作るべきなのか。」と考えることも、万博の主要な目的のひとつだと思います。未来は勝手に変わるものではなく、皆さんが変えていくものです。だからこそ、毎日の授業や経験を大事にしてください。今は役に立たないと感じることで、それがのちのち重要になることはいくらでもあります。毎日を大切に過ごしてください。

少し前に「夢の材料を作りたい」というテーマで高校生対象の討論会の記事を見ました。そこには、ある北海道の高校生が「光が曲がらない屈折率1の物質を作りたい。コロナ禍でアクリル板が使われたが向こう側が見えづらかった。屈折率1の物質が開発できれば、とても見やすくなると思う。」と言ったというのです。それに対してある教授が「その発想があれば、未来のメガネやコンタクトレンズにインターネット情報を映すことができる。あなたの視点は非常に素晴らしい。」と、とても褒めていました。日常の不便や「こうだったらいいのにな」と感じることを自由な発想で考えれば、新しいアイデアが生まれます。すぐには形にならなくても、アイデアの実現に向けて努力を始めることは、とても素晴らしいことです。まずは、興味を持った分野の基礎から勉強したり、先行研究を調べたり、その研究の歩みや歴史を学びながら新しいものを創造することが、SSH指定校で学ぶ者として大事なことだと感じています。皆さんの斬新なアイデアを期待しています。

さて、明日から夏休みです。3年生は、いよいよ受験本番ですね。「いつやるの？今でしょ。」高校時代を振り返ったときに、「あの時は猛勉強したなあ。」と思い出せるくらい勉強しましょう。勉強漬けの苦しさや、勉強だけできる幸せを感じながら、心と体の健康管理をしっかりして頑張ってください。

1, 2年生にとっては、さまざまなことに挑戦できる時です。部活動、勉強、自分の興味のあるものに全力で取り組んでください。そして、この時期に特に考えてもらいたいことは、自分の将来のことです。皆さんは漠然と大学に行くと考えていませんか。その先のことをぜひ考えてください。将来どんな仕事をしたいか、そのためにどんな道があるのかを探ることはとても重要です。夏休みは時間がたくさんあります。そのための時間にしてください。一回り遅くなった皆さんと再会できる日を、心から楽しみにして、式辞とします。